



## 木幡 サ子子氏

氏はアイヌ文化を継承してきた祖父母と幼少時代を過ごし、日常生活の中でアイヌ語を主として多くのアイヌ文化を背景として育った。

現在、全国各地で行われる各種行事に積極的に参加し、継承してきたウウエペケレ（昔話）やカムイユカラ（神謡）を披露するなど、口承文芸の語り部として活躍している。

また、二風谷アイヌ語教室の講師及び平取アイヌ文化保存会理事として地域の後進の指導に務めるなど、永年にわたりアイヌ文化の普及啓発に大きく貢献している。

### <略 歴>

- 昭和 5 年 平取村字貫気別で出生（現在 82 歳）
- 昭和 19 年 平取町立貫気別小学校を卒業
- 昭和 19 年 荷負本村 西島清氏宅で子守りの傍ら農業に従事
- 昭和 26 年 木幡忠雄氏と結婚し、共に農業に従事
- 昭和 58 年 平取アイヌ文化保存会の結成と同時に会員として活動し、現在に至る
- 平成 元年 第 1 回シシリムカアイヌ文化祭へ出演
- 平成 2 年 二風谷アイヌ語教室の受講生としてアイヌ語を本格的に学び始める
- 平成 10 年 二風谷アイヌ語教室講師に就任し、現在に至る
- 平成 13 年 「国民文化祭」（群馬県開催）にてカムイユカラ（神謡）口承文芸を発表
- 平成 14 年 アイヌ語弁論大会（イタカンロー）審査委員を務める（平成 16 年まで）
- 平成 15 年 アイヌ文化環境保全調査（平取ダム地域文化評価）の委員に就任し、現在に至る
- 平成 17 年 平取アイヌ文化保存会理事を務め、現在に至る
- 平成 17 年 「アイヌ文化奨励賞」受賞
- 平成 21 年 平取地域イオル再生事業により建設されたポロチセの管理人を務め、トマ編みの実演、体験の講師も務めている
- 平成 24 年 アイヌ文化賞受賞